

大学院情報科学研究所の竹井邦晴教授が 第 21 回（令和 6 年度）日本学術振興会賞を受賞

【賞の概要】

日本学術振興会賞は、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を見出し、早い段階から顕彰することで、その研究意欲を高め、研究の発展を支援することにより、我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させることを目的としています。

選考は、各分野を代表する我が国のトップレベルの学術研究者により構成される審査会で厳正な審査が行われ、受賞者が決定されました。

受賞対象者は、人文学、社会科学及び自然科学の全分野において、原則 45 歳未満で博士又は博士と同等以上の学術研究能力を有する者のうち、論文等の研究業績により学術上特に優れた成果をあげている研究者となっています。

【受賞内容】

研究課題 スマートフレキシブルセンサシステムの開発

(Development of Smart Flexible Sensor System)

受 賞 者 竹井 邦晴（北海道大学大学院情報科学研究所 教授）

授 賞 式 令和 7 年 2 月 4 日（火）日本学士院（東京都台東区上野公園 7-32）にて開催

【受賞理由】

ウェアラブルデバイスの普及に伴い、より多くのバイタルデータの一括計測に向け、機械的に柔軟なフレキシブルセンサ実現への期待が高まっています。有機半導体は柔軟性に優れ、様々なデバイスの研究開発が国内外で進められていますが、有機半導体デバイスは安定性や性能面で発展途上にあり、低電圧駆動や信頼性に課題を有しています。

竹井教授は、無機ナノ材料を化学処理によりフレキシブルフィルム表面に均一に転写もしくは印刷することで、これらの課題を克服し、高性能トランジスタや様々なフレキシブルセンサを実現しています。また、医療や機械学習、無線システムと言った異分野融合に積極的に取り組み、医療関係者があたかもそばで見守っているようなエッジ型スマート健康管理システムを開発するなど、事業化を視野に入れた研究開発にも取り組んでいます。

竹井教授の研究成果は、学術界だけでなく産業界や社会的にも注目度が高く、当該分野をリードする若手研究者として、今後も更なる活躍が期待されるとの理由から受賞に至りました。

お問い合わせ先

北海道大学研究推進部研究振興企画課総務担当

T E L 011-706-2166 F A X 011-706-4873 メール suishin@general.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp